

**電気通信事業分野における競争ルール等の
包括的検証に関する特別委員会
グローバル課題検討WG ヒアリング
ご説明資料**

**ソフトバンク株式会社
2019年8月8日**

国民生活の利便性向上のため、追求すべきは**公正な競争環境確保**

ネットワーク・産業構造の変革



公正な競争環境

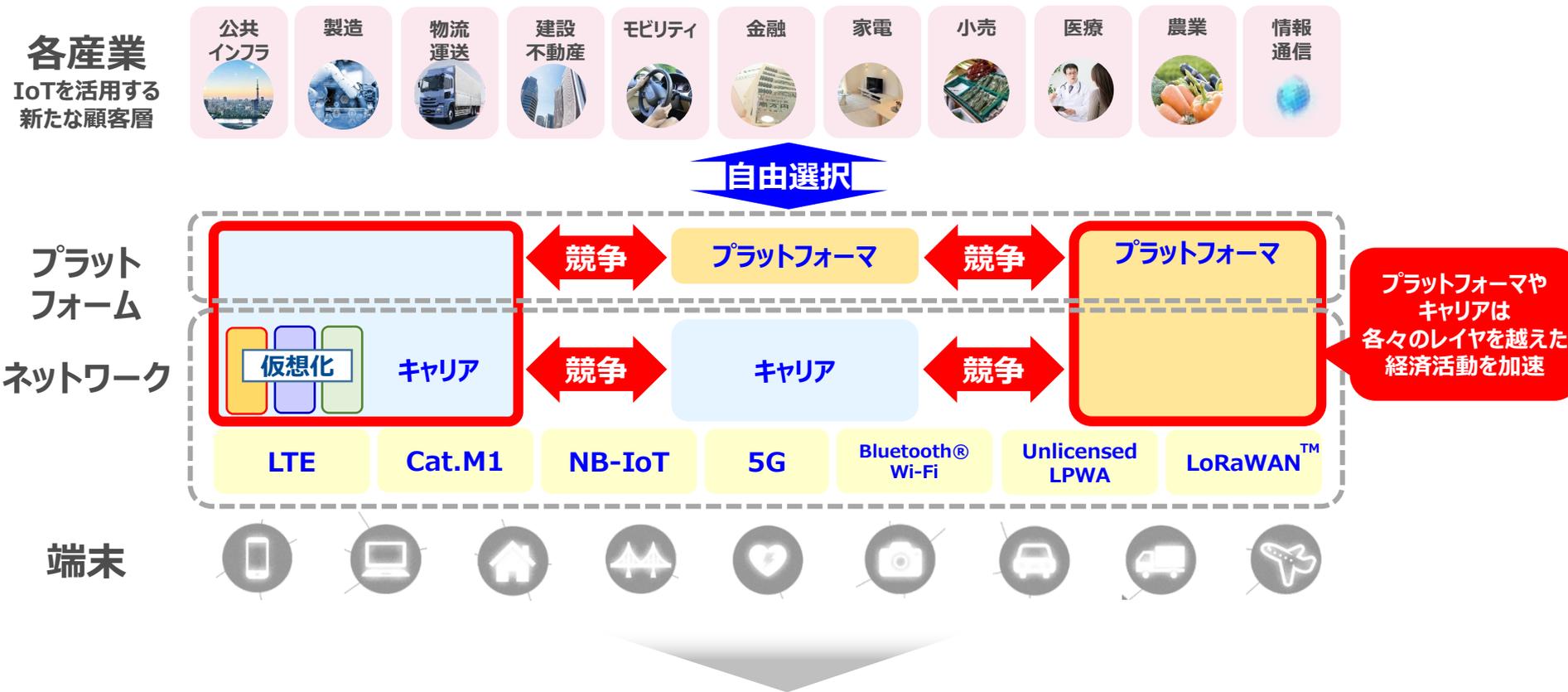
国民生活の利便性向上



経済発展と社会的課題の解決の両立

- ゆとりと豊かさの実感
- 安心・安全・快適な社会

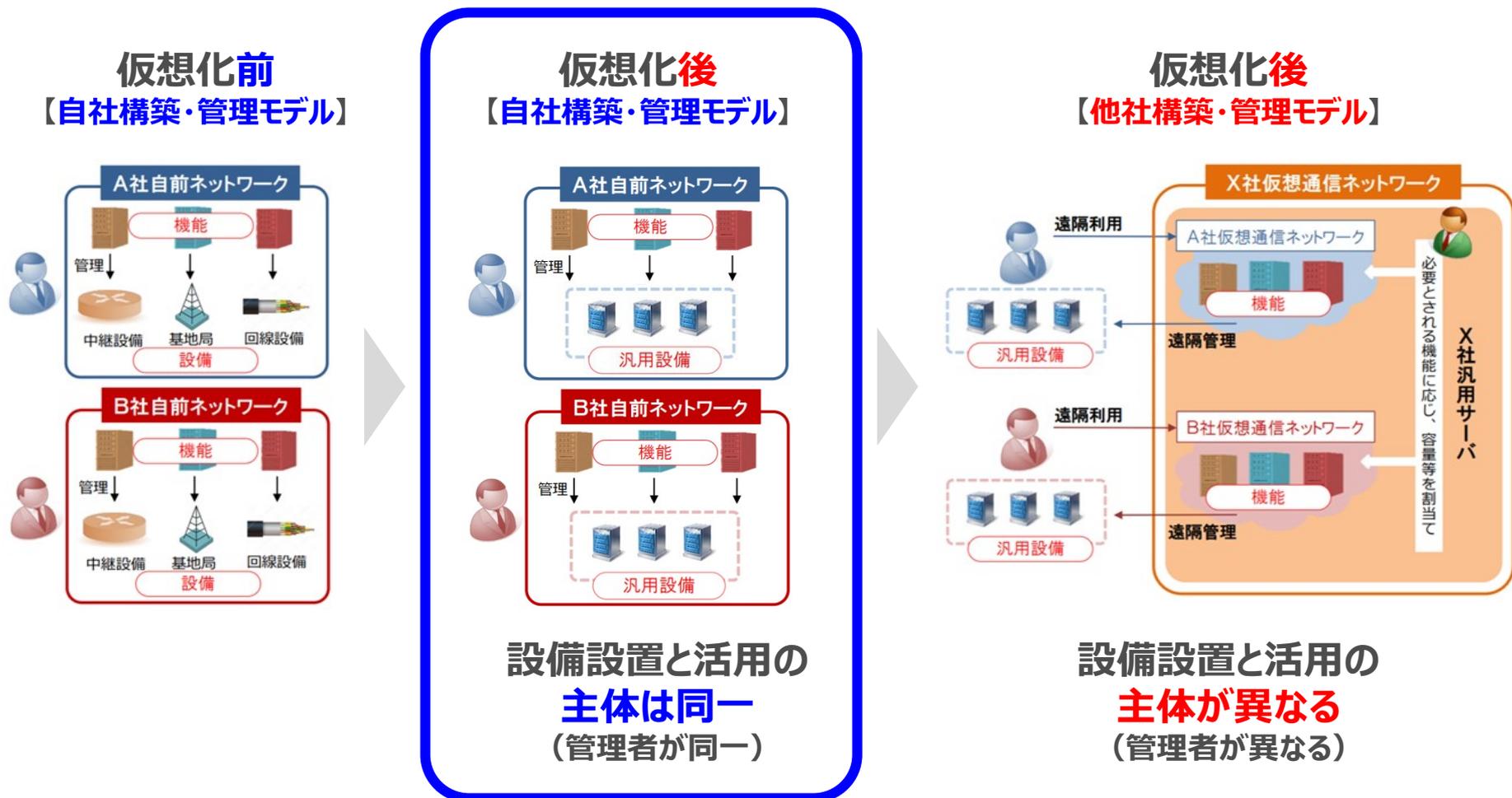
様々なプラットフォーム・ネットワークを多様なプレイヤーが利用できる環境に
(市場の活性化が期待される)



仮想化に伴い事業者間連携の容易化・進展が期待されるが、
各レイヤにおける**プレイヤー間の競争促進**は引き続き重要

仮想化進展のプロセス

仮想化への移行にあたっては、**自社構築・管理モデルを経過**すると想定



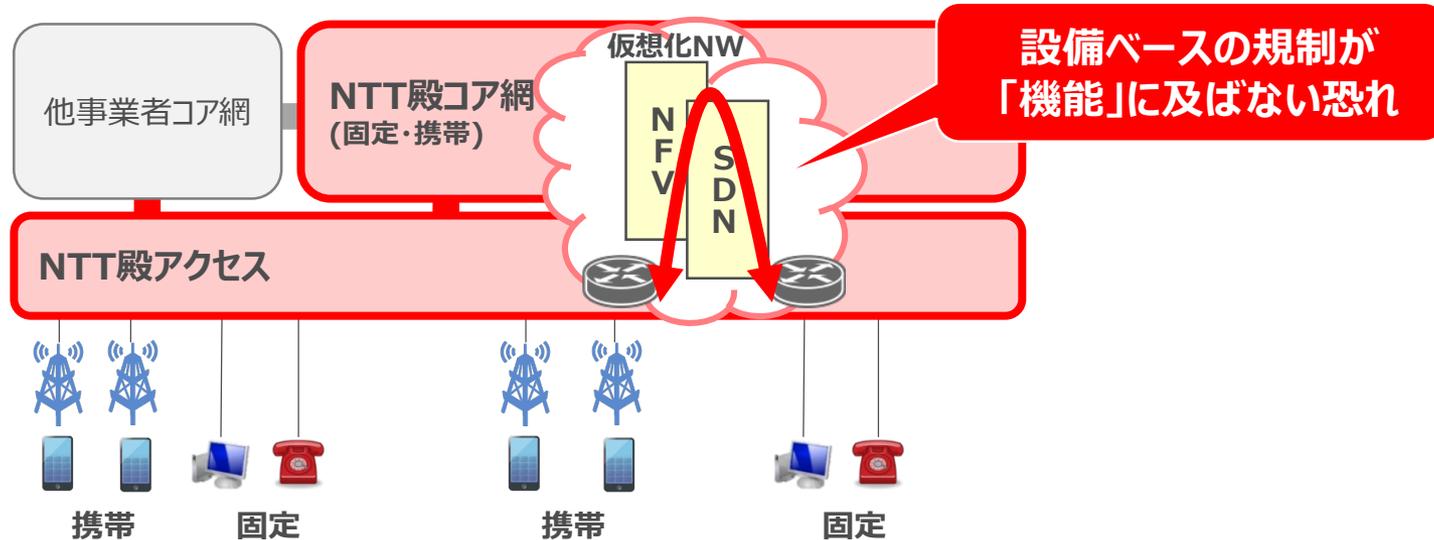
出典：第1回 グローバル課題検討WG 資料グ1-2(2019年6月26日) P.29
 ※中央の図表は、上記出典の内容をもとに当社にて一部改変

事業者間連携の容易化・進展に伴う**競争上の課題の整理**が重要

仮想化進展に伴う競争上の留意点

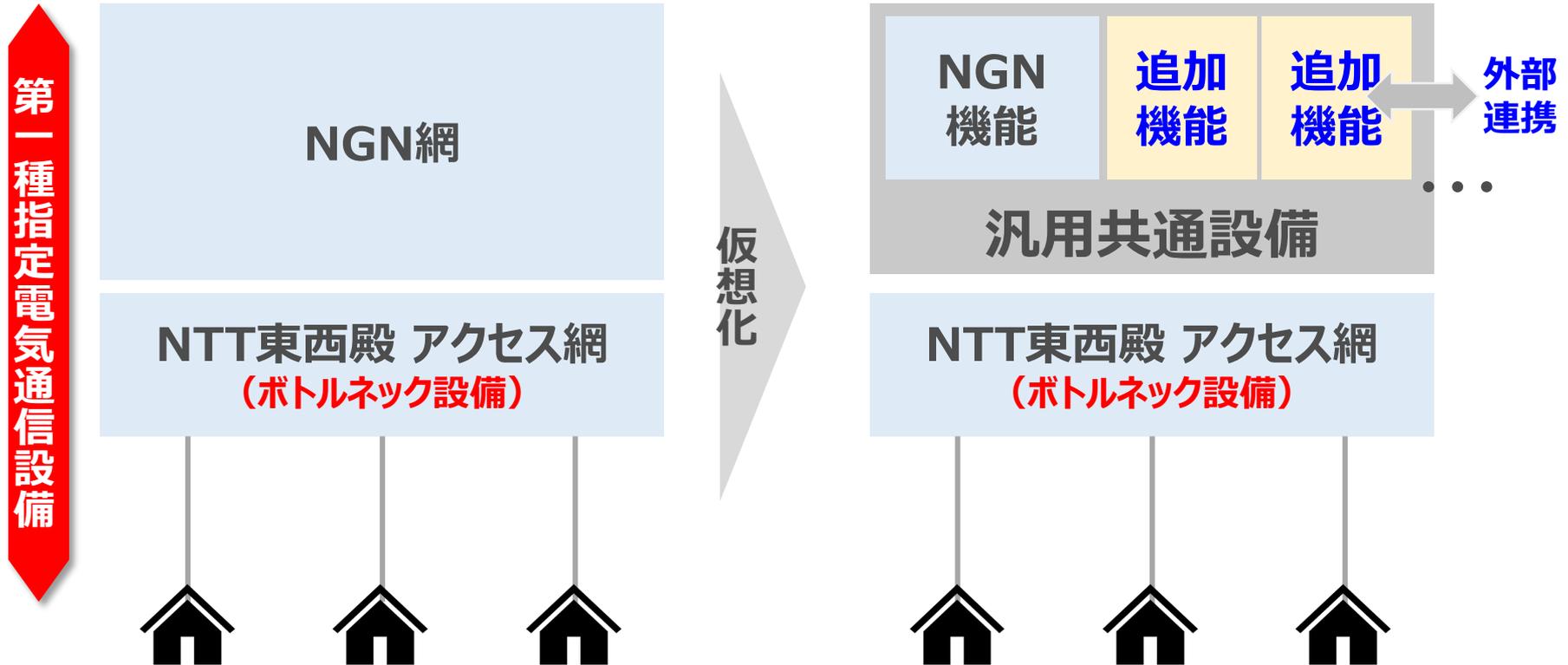
仮想化進展に伴いコア(固定・携帯)及びコア・アクセスの一体化が進み
NTTグループの影響力増大が懸念される

「設備」に着目した非対称規制を維持しつつ
「機能」ベースでの提供条件の透明性・適正性・公平性を確保
 (ボトルネック設備相当の機能を有する機能アンバンドル、
 グループドミナンスへの対処としての禁止行為規制等)



* 仮にNTT東西殿のローカル5G参入を認める場合においても、公正競争上問題となり得る
 NTT東西殿とNTTドコモ殿との連携（市場支配力の相乗効果）等に対処するルール整備が最低限必要

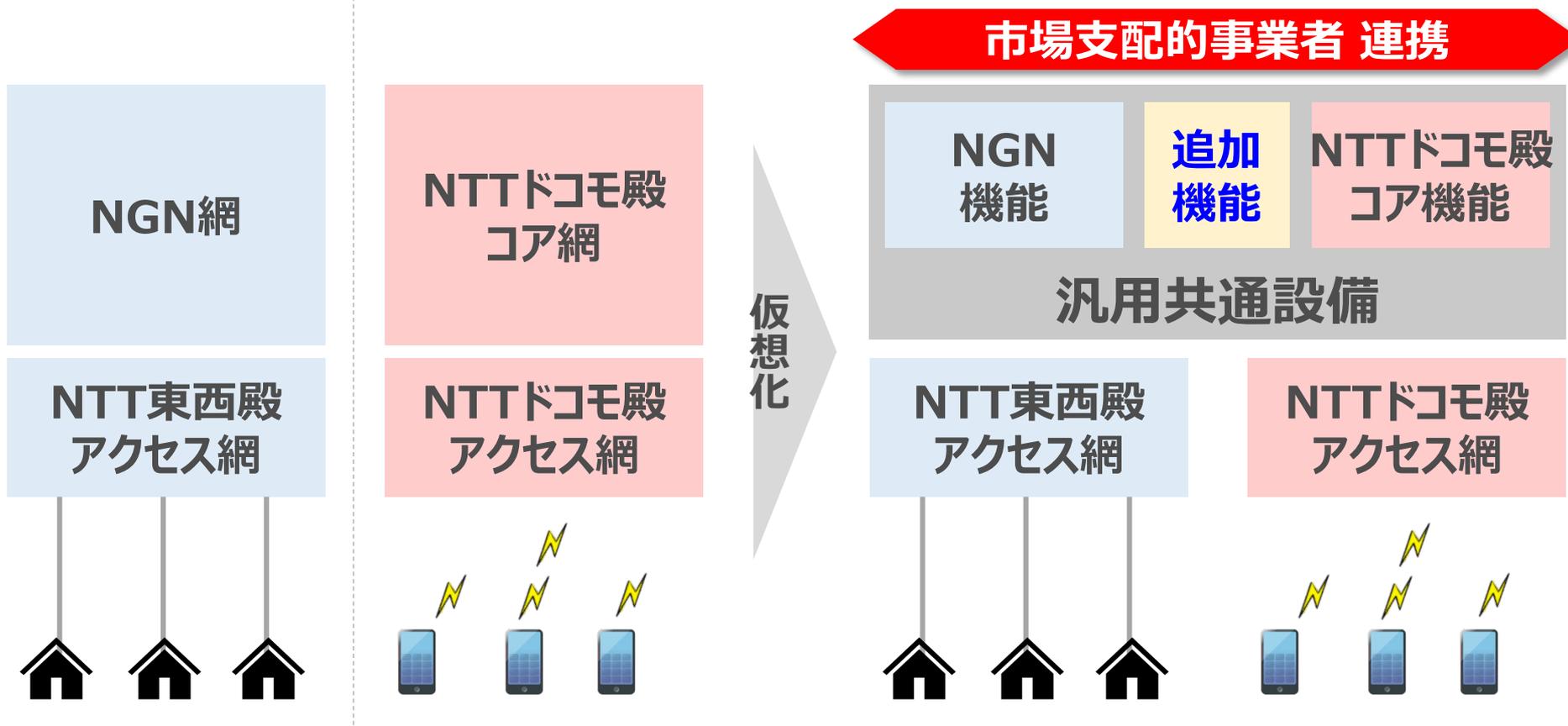
汎用共通設備上での**機能追加が容易**になると考えられる



第一種指定電気通信設備制度を引き続き維持し、
機能ベースでの開放を促すべき

仮想化進展に伴う競争上の留意点

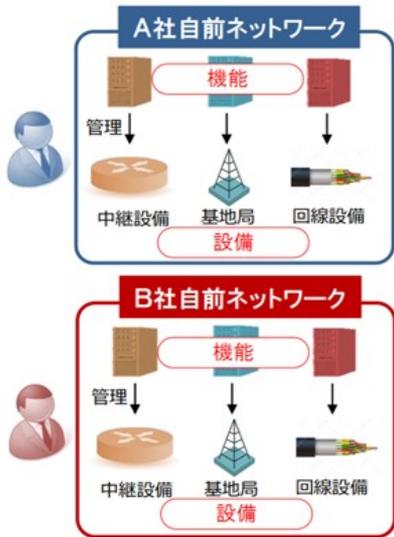
汎用共通設備上での**事業者間の連携が容易**になると考えられる



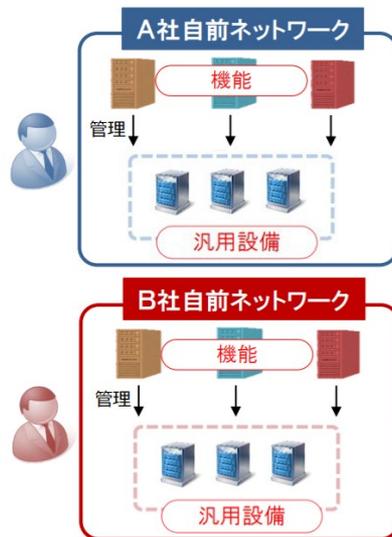
市場支配的事業者間の連携による
市場競争の停滞といった事態は回避が必要

将来的には、**他社構築・管理モデル**も普及すると想定

仮想化前 【自社構築・管理モデル】

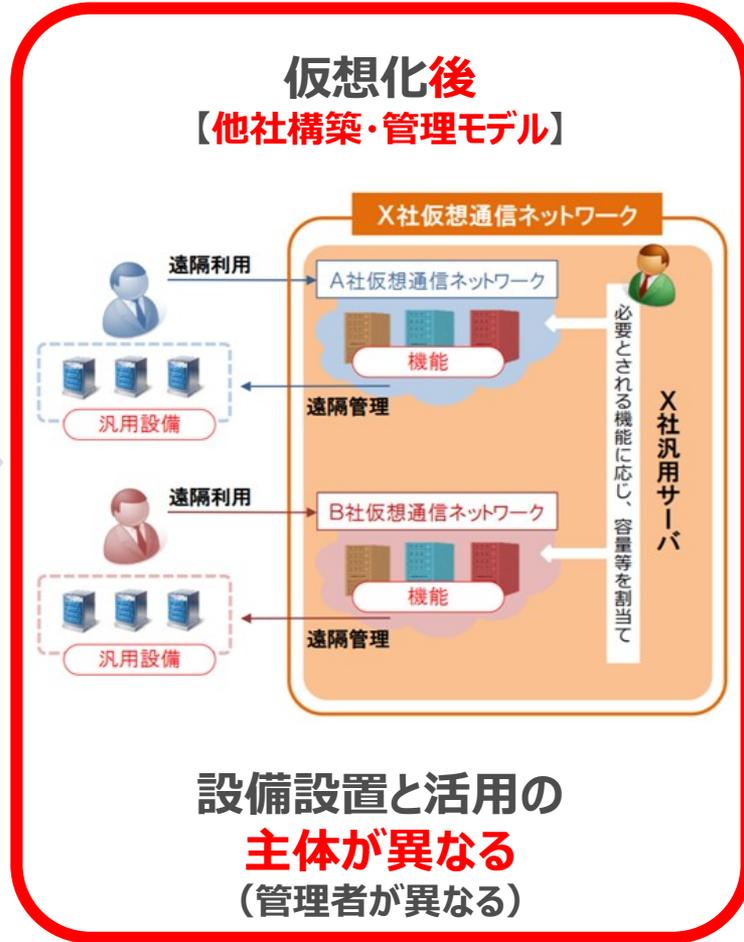


仮想化後 【自社構築・管理モデル】



設備設置と活用の
主体は同一
(管理者が同一)

仮想化後 【他社構築・管理モデル】



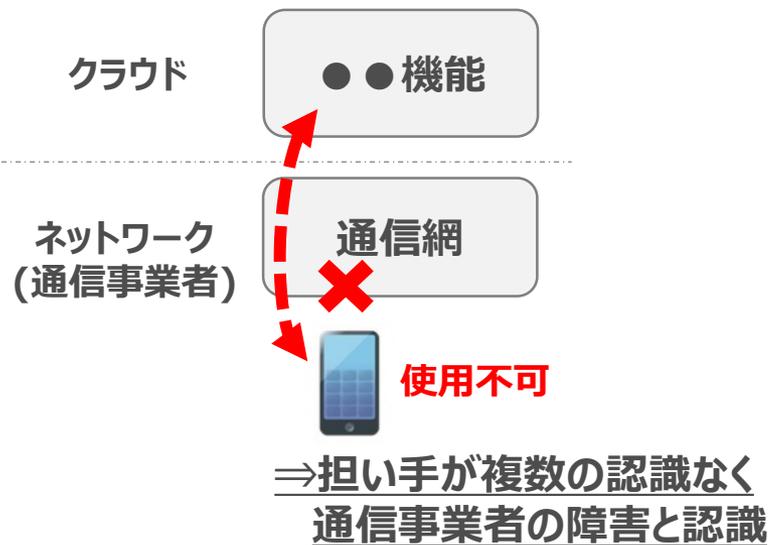
設備設置と活用の
主体が異なる
(管理者が異なる)

出典：第1回 グローバル課題検討WG 資料グ1-2(2019年6月26日) P.29
※中央の図表は、上記出典の内容をもとに当社にて一部改変

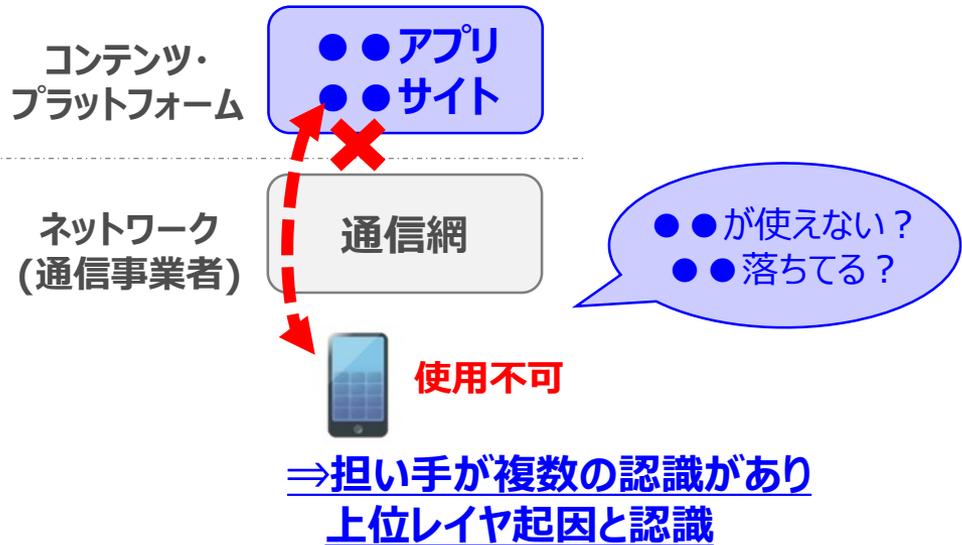
責任所在の分離に伴い、主に**対ユーザ責任の整理**が必要

サービスの担い手が複数存在し、責任が不明確になりがちなか中、
ユーザ自身がある程度責任の所在を認識するケースもある

仮想化された機能が使用できない場合



特定のアプリ・サイトが使用できない場合

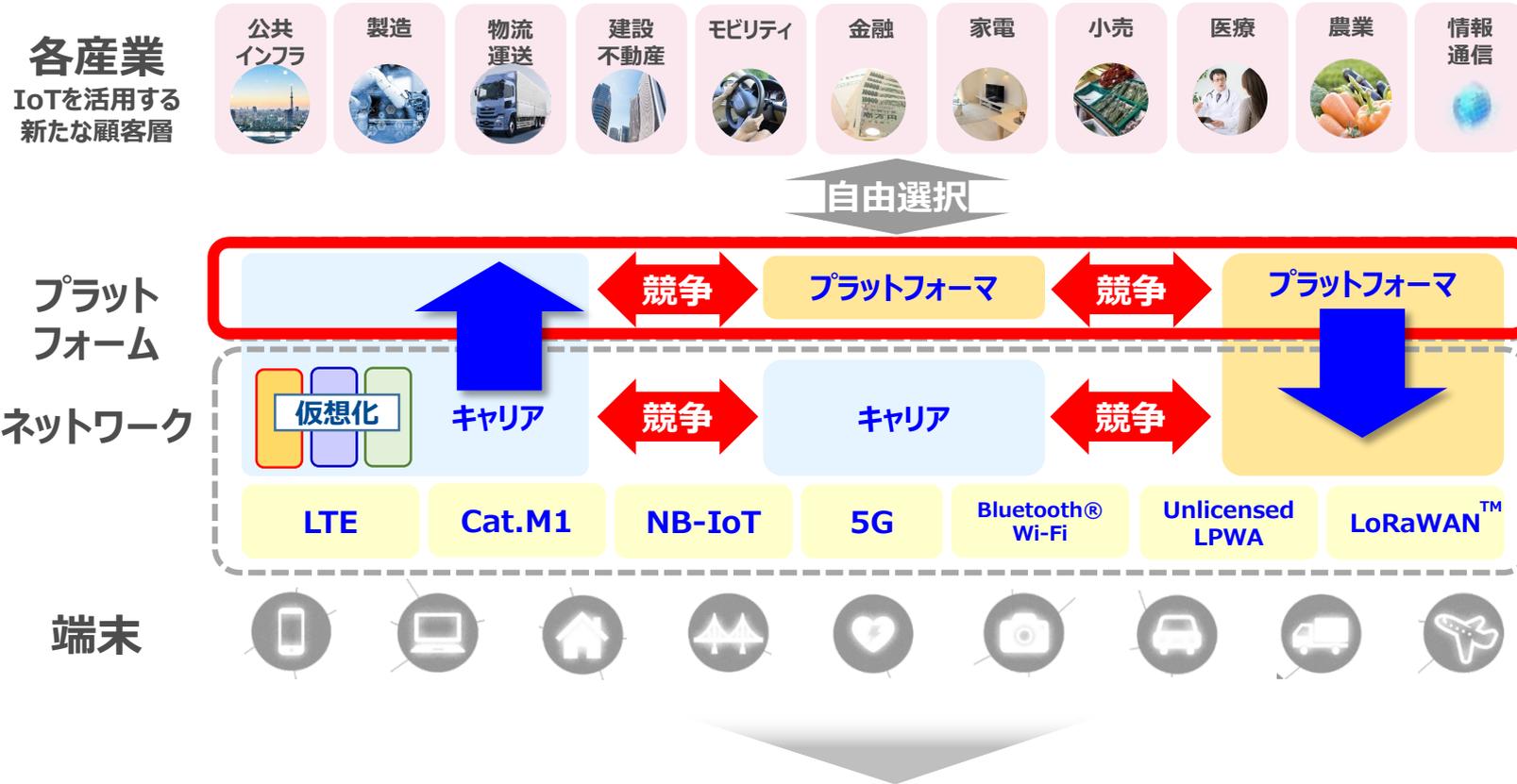


どのような場合にどのような責任を誰が負うべきか整理が必要

①通信事業者 or プラットフォームがまとめて担うべきか ②各々が責任を負うべきか 他

⇒ いずれにせよ、国内/国外事業者間で差分があってはならない

プラットフォームの役割・影響力が拡大、キャリアは当該レイヤへ進出
一方で、プラットフォームもネットワークレイヤへ進出



双方のレイヤでの公正競争の促進の結果、国際競争力も高まると考える
(プラットフォーム/キャリア間、国内/国外事業者間の公平性確保も必須)

政府に対しては、ICTを利活用した新規ビジネスの障壁となり得る
既存の各種規制について緩和を期待
(海外の状況も考慮の上)



通信キャリアとしてのネットワークやプラットフォームを生かし、さらなる成長につなげるため、グループ各社や出資先の有力企業などとの協働を通して、世界の最先端技術や新しいビジネスモデルを日本に導入・展開していきます。新たにスタートした事業やサービスは日本だけにとどめることなく、積極的なグローバル化を推進。パートナー企業の海外進出サポートや、ソフトバンク自身がサービス提供者として世界に挑んでいきます。

国民生活の利便性向上のため、追求すべきは公正な競争環境確保
各レイヤーにおけるプレイヤー間の競争促進は引き続き重要

事業者間連携の容易化・進展に伴う競争上の課題の整理が重要
第一種指定電気通信設備制度を引き続き維持、機能ベースでの開放を促すべき

責任所在の分離に伴い、対ユーザ責任の整理が必要
国内/国外事業者で差分があってはならない

プラットフォームの役割・影響力が拡大
各レイヤーでの公正競争の促進の結果、国際競争力も高まると考える
(プラットフォーム/キャリア間、国内/国外事業者間の公平性確保も必須)

ICTを利活用した新規ビジネスの障壁となり得る
既存の各種規制について緩和を期待